

国連WFPとは



「飢餓ゼロ」を使命とする国連唯一の食料支援機関です。

2022年
支援実績

・120以上の国と地域で 1億6000万人に支援 ・480万トンの食料を提供



©WFP/Michael Tewelde

国連WFPとSDGs

「SDGs（持続可能な開発目標）」は、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「質の高い教育をみんなに」など、2030年までに達成すべき17の国際社会の目標をまとめたもの。国連WFPは、目標2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤にもなるとの考えのもと、その実現を目指しています。



国連WFP 0120-496-819

受付時間 9:00~18:00(年始を除く年中無休) ※ご寄付は寄付金控除の対象になります。



WFP.JP



WFP_JP



@wfp_japanoffice
@jawfp_official



寄付アプリ
ShareTheMeal

飢餓から救う。未来を救う。



緊急食料支援

命を救う。

紛争や災害が発生すると、現地政府からの支援要請に基づき、直ちに職員を派遣します。48時間以内に最初の食料を被災地に届けることを目指し、その後、迅速に支援を拡大。指定の店で食料と引き換えられる券や、食料購入用の現金、電子マネーを配布することもあります。

2022年6月にアフガニスタンで発生した地震の被災者への緊急支援の様子。

©WFP/Sadeq Naseri



2022年3月、ハルキウの地下鉄駅構内でのパン配布の様子（ウクライナ）

©WFP



長期化する紛争により飢餓に陥るカサイ地域において、国連 WFP の支援食料の一つである植物油を分け合う女性たち。（コンゴ民主共和国）

©WFP/Griff Tapper

母子栄養支援

一生に関わる 「最初の1,000日」

子どもは母体に宿ってから2歳に達するまでの「最初の1,000日」に十分な栄養を摂れないと、心身の発達に回復不能なダメージを受ける恐れがあります。国連WFPは乳幼児と妊産婦へ栄養を強化した食品を配り、子どもたちの健やかな成長を支えます。

2歳の娘に、支援で配られた大豆とトウモロコシの混合粉のお粥を食べさせる母親。ミャンマーでの武力衝突から家族と共に逃れてきたロヒンギャ。(バングラデシュ)

©WFP/Shehzad Noorani



保健センターで、低体重の妊産婦と5歳未満の栄養不良の乳幼児への栄養支援を実施。身長・体重の測定や栄養指導も行う。(ブルンジ)

©WFP/Hugh Rutherford



国連WFPが保健省との連携で製造したペースト状の栄養強化食品を息子に食べさせる母親。(東ティモール)

©WFP/Cesaltino Ximenes

飢餓から救う。未来を救う。

学校給食支援

給食で 広がる未来。

学校給食は子どもたちの栄養状態を改善し、勉強への集中力を高めます。給食があることで親が子どもを学校へ通わせるようになり、就学率が向上します。教育の普及は国の発展につながります。

ルワンダの難民キャンプにある小学校に通う、コンゴ民主共和国の子ども達。給食が子ども達の夢を後押しします。(ルワンダ)

©Mayumi Rui



紛争や自然災害などの緊急事態が起きると、貧しい家庭や親を亡くした子どもは生活がさらに苦しくなります。新鮮で栄養豊富な食材で作られた給食は、子ども達の成長と暮らしを守ります。(シリア)

©WFP/Marwa Awad



国連 WFP は、地域の農業や経済の振興につながるように、学校給食の食材を地元で調達する地産地消を推進しています。(ラオス)

©WFP/Vilakhone Sipaseuth

飢餓から救う。未来を救う。

自立支援

支援からの卒業を目指して

支援を必要としている人々に、農地や灌がいの整備、職業訓練などに取り組んでもらい、対価として食料を提供します。地域の生活環境が改善するだけでなく、人々のスキルを高め、自立を助ける効果も期待できます。

長年に渡る森林伐採により引き起こされる洪水被害に悩まされていた住民たち。火山岩を使って水流を弱め、土壌の流出を防ぐ方法などを学びそれを実践。(セネガル)

©WFP/Jenny Matthews



国連 WFP が支援する裁縫の職業訓練を受ける国内避難民の女性。干ばつによる不作や食料価格の高騰などにより多くの貧困層が食料不足に直面した。(ソマリア)

©WFP/Karel Prinsloo



国連 WFP の支援をもとに灌がい設備を整え農作物の収穫が増えたおかげで、出稼ぎに行かずに済み、家族と一緒に暮らせるように。(ホンジュラス)

©JAWFP

飢餓から救う。未来を救う。



輸送・通信支援

確かに、届ける。繋ぐ。

国連WFPは国連随一の輸送集団であり、緊急時には物流などのリード機関として、アクセスの難しい地域に他の人道支援団体の物資やスタッフも運んでいます。さらに通信関連の設備や専門家を派遣し、通信網の整備も行っています。

紛争や劣悪な道路事情のため陸路で支援を届けられず、栄養強化された植物油を飛行機から空中投下。パラシュートは落下時の事故や破損を回避するため。(南スーダン)

©WFP/George Fominyen



長年にわたり武力衝突が続く人道支援が制限されるスーダン西部で、支援物資を届ける国連WFPのトラック。(スーダン)

©WFP/Ala Kheir



2015年に発生したマグニチュード7.9の地震の際に設置した緊急通信サービスには、支援団体250以上が使用登録をし、救命活動に利用。(ネパール)

©WFP/Mariko Hall



World Food Programme

飢餓から救う。未来を救う。



©Mayumi Rui



©WFP/Rein Skullerud



©WFP/Simona Caleo



©WFP/Agron Dragaj



©WFP/Tashi Doma



©Mayumi Rui

子どもたちに栄養と希望を

レッドカップキャンペーン

今、世界には飢餓で多くの幼い命が失われていること、食べるために働いて学校に行けない子どもたちがまだまだいること、この状況を多くの人に伝え、一人でも多くの子どもたちに学校給食を届けるためのキャンペーン。目印は、国連WFPが給食を入れる容器として使っている、赤いカップ。赤いカップは、子どもたちの未来への希望のシンボルです。皆さんの力で、給食が届く、世界がより良くなっていく、それがレッドカップキャンペーンの願いです。



飢餓から救う。
未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

レッドカップキャンペーンへの参加方法はキャンペーンマークがついた商品を購入するだけ！



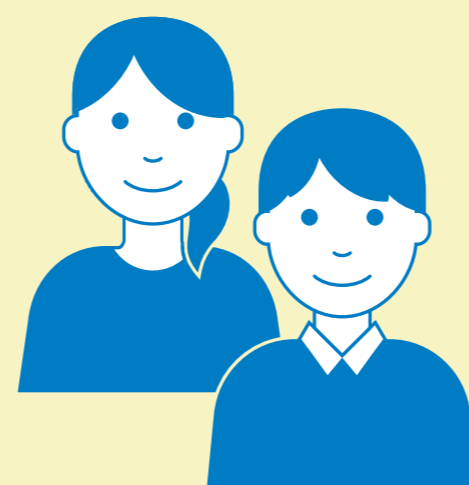
飢餓から救う。
未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画

— レッドカップキャンペーンの仕組み

キャンペーンマークがついた商品を購入すると、売り上げの一部が国連WFPの学校給食支援に寄付され、子どもたちに学校給食を届けることができます。

購入

企業が売上の一部を寄付



©WFP/Marcus Prior

途上国の子どもたち



参加商品はレッドカップキャンペーン公式サイトでご覧いただけます。
<https://www.jawfp.org/redcup/>